

2019年度 事業計画

事業名		法人本部
事業内容		法人運営及び法人事務
2 0 1 8 年 度	出 来 た	<p>【法人運営等】 課題であった本部常勤事務職員を法人内異動により来年度確保することが出来た。</p> <p>【本部事務等】 ①本部事務体制が厳しい中でも何とか滞りなくできたが、細かい部分までは行き届いているとは言えない。 ②就労会計予算を当該事業所で作成することが出来た。</p>
	出 来 な い	<p>【法人運営等】 資金収支は年度末賞与1.5ヶ月を支給して均衡出来たが、中長計画の策定には取り組みなかった。</p> <p>【本部事務等】 有給休暇の一斉付与は2020年度から開始する。</p>
2 0 1 9 年 度 事 業 方 針 案	基 本 方 針	<p>【法人運営等】 困難が予想される次代を乗り切ることの出来る組織づくりに取り組む。</p> <p>【本部事務等】 ①事業所単位での予算管理体制の構築 ②新たな本部事務体制となるため、より潤滑な流れを作り、適正な会計及び事務処理を行う。</p>
	重 点 取 組	<p>【法人運営等】 長期的に運営を担える役員体制と、柔軟性と多様性を持った職員集団づくり</p> <p>【本部事務等】 ①各事業所責任者(=予算管理責任者)による自事業の予算管理に取り組む。 ②本部新職員へのOJTの継続</p>
	具 体 的 な 取 組 内 容	<p>【法人運営等】 ①6月の定時評議員会へ今後を見据えた新役員体制を提案 ②4名の管理職の長所を活かし、集団で相乗効果を上げることの出来るOJT・Off-JT研修の実施 ③育休からの復職者も視野に入れた、新主任候補集団づくり</p> <p>【本部事務等】 ①月次予算の執行状況を管理職会議の中で資金収支計算書を元に共有して、点検・学習作業を継続する。 ②本部内実務の役割分担、体制作り ③法人事務書式の追加・改定・運用（固定資産台帳の一品一葉化等）</p>

事業名		御影倶楽部
事業形態		障害福祉サービス事業 就労継続支援B型
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの作業はメンバー主体でできた。下請けは常に複数あり工賃もアップした。紙漉きでは法人内外の事業所とワークショップの開催や様々なイベントに参加し、地域の人と触れ合う機会が増えた。 ・木の芽バンドや学校での授業等、仕事以外での取組みも増えた。 ・月曜の調理や暮らしの講座を継続した。高齢化するメンバーに対して家族やケアマネとの連携、通院同行、昼食代管理等の支援を進めた。
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の情報共有が不足していた。 ・病院からの紹介による見学者は複数名いたが、利用契約に至らなかった。メンバー利用実績も増えなかった。 ・レクの実施回数が減った。
2019年度事業方針案	基本方針	多様化するメンバーの特性や個性をしっかり把握した上で、それぞれの良さを見つけて伸ばす。
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ①職員間でのこまめな情報や意識の共有 ②下請けや紙漉き作業能力の向上 ③生活についての学びの実施や家族、関係機関等との連携の強化
		<ul style="list-style-type: none"> ①・毎朝夕や毎週の会議等を通じて職員間で情報共有をこまめに行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・担当支援メンバーや担当業務を見直し、職員間での業務量の隔たりを減らす。 ②・メンバー一人ひとりにあった仕事が常にあるように、作業工程の見直しや新規作業を開拓する。 <ul style="list-style-type: none"> ・紙漉きワークショップや販売会の機会を通じて、地域の人により多く知ってもらい、同時に他事業所のメンバーや職員と交流する機会を増やす。 ・てんかん発作や多動症、メンバー増加等に対応するため安全な動線や十分な作業スペースを確保する。 ③・本人や家族の高齢化に伴う課題に対応するため、家族・医療・医療機関・行政等との連携を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域で生活する社会人として必要な身だしなみやマナー、コミュニケーションについての向上を働きかける。
	事業内容	下請け作業、レオパレス清掃、DM便配達、サンケイリビング折込配布、紙漉き
	利用対象者	精神障害、知的障害、身体障害
	利用定員	32名
	目標利用者数	平日1日平均25名
	開所日・時間	月～金 9:00～17:00（作業は9:45～15:10）
職員体制	管理者兼サビ管1名、常勤5名（うち兼務2名）、非常勤1名	

事業所名		エム・ワークス
事業形態		障害福祉サービス事業 就労移行支援
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・4月、5月、12月に計6名の新規登録者を迎えることができた。 ・年間平均して定員8名で活動することができた。 ・結果としてコミュニケーションが苦手な方々が集まったが、後半は雰囲気良くなり和気藹々とした集団ができた。
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は就職者を2名しか出すことができなかった。 ・1名の方が就労に結びつかずに期限を迎え、退所することになった。 ・次年度以降の新規メンバーの獲得が思うように進まなかった。
2019年度事業方針案	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の安定化 ・広報活動の強化 ・施設内環境の整備
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・大半の方が2年目を迎えるので就職活動を加速させる。 ・新規メンバーの募集を強化する。 ・就職に向けてメンバーの社会経験を推進させる。
	具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・合同面接会に向けての準備を加速するのはもちろんだが、就職準備が整った方に対しての支援活動も充実させる。 ・関係機関に向けてメンバーの募集を引き続き行う。 ・年齢の若いメンバーが多いので、セミナーや企業実習を通じて社会常識獲得等の経験の場を増やしていく。 ・現在5社の取引先と契約して作業を行っているが、繁忙期と閑散期の差が大きい。難しいが作業の均等化を取引先と話し合う。 ・就労が決まった方に対して6ヶ月の継続支援をしっかりと行い、定着支援事業に結びつけていく。
	事業内容	取引先との協力による下請け作業等。各種プログラム。
	利用対象者	精神障害、知的障害、発達障害、身体障害
	利用定員	8名
	目標利用者数	8名
	開所日・時間	月～金 9：00～17：00
職員体制	管理者兼サビ管1名、常勤3名（内1名は週3日勤務）	

事業所名		咲くら工房
事業形態		障害福祉サービス事業 就労継続支援B型
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・「『我が事、丸ごと』地域共生社会」を学びながら、木の芽福祉会の理念に添った支援を行った。勉強会へも参加 ・就労を目指している人も目指していない人も、お互い支え合える人間関係の構築を目指す集団づくりができた。レクや全体会議で理解を深めた。
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の希望時やモニタリング（支援計画）実施時以外に面談を増やす事はできなかった。 ・育休中の職員が復職出来なかった。
2019年度事業方針案	基本方針	利用者、家族の本当の気持ちを聞く
	重点取組	<ol style="list-style-type: none"> 1、家庭訪問（希望者のみ）・聞き取り型のアンケート調査、防災確認 2、弁当価格見直し 3、軽作業工賃時給見直し
	具体的な取組内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、職員2名体制で希望者の家庭訪問を行い聞き取りのアンケート調査を行う。家庭訪問を希望しない利用者は施設内でアンケート調査を行い自宅場所の確認を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・この機会を利用し日頃施設内では話せていない事を聴かせてもらう。 ・また、防災意識や避難場所の確認を行う。 ・1年かけて行い、年度末にはアンケート調査の結果をまとめる。 2、10月より消費税が上がる事により材料費が高騰する見込み、よって抜本的な見直しが必須となる。また値上げするのであればクオリティーも上げなくてはならない。 3、軽作業工賃時給見直し <p>平成30年度の工賃分析では値上げ可能である。</p> <p>時給100円から10円アップして110円にする。</p>
	事業内容	弁当製造販売・授産商品そば茶販売・下請け作業
	利用対象者	精神障害、知的障害、身体障害
	利用定員	20名
	目標利用者数	平日1日平均15名
	開所日・時間	月～金 9:00～17:00
職員体制	管理者兼サビ管1名、常勤3名、非常勤1名	

事業所名		六甲倶楽部
事業形態		障害福祉サービス事業 就労継続支援B型
2018年	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・お菓子事業の販路拡大(甲南大学) ・イベント対応の焼き菓子製造とラッピング ・下請け、お菓子作業の工程見直し
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・工賃見直しをしたが、工賃アップにつながらなかった。
2019年度事業方針案	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ①社会性等を学ぶプログラム(学習の場)の充実を図る。 ②個人の能力に合わせた作業の細分化 (お菓子作業の工程に利用者全員が参加できるよう工夫をする。)
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ①年1回以上の勉強会 ②お菓子作業の見直し
	具体的な取組内容	<p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・2か月以上の欠席者に連絡をして近況を聞く。 <p><お菓子></p> <ul style="list-style-type: none"> ・販路拡大 大学生協の販売先を広げる(関西学院大学、甲南大学以外)。 ・販売先の見直し 売上個数が少量の納品先から撤退する。 ・消費税10%に引き上げられることによる見直し 商品原価再計算、販売価格の採算点確認、ラッピング等の見直し
	事業内容	お菓子作業、下請け作業
	利用対象者	精神障害、知的障害、身体障害
	利用定員	10名
	目標利用者数	平日1日平均10名
	開所日・時間	月～金 9:00～17:00
職員体制	管理者兼サビ管1名、常勤1名、非常勤1名	

事業名		ひらめの家
事業形態		就労継続支援B型
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・染めのワークショップや他事業所とのコラボ商品も多くの注文があった。 ・下請け作業では、無理のない範囲での作業内容で取組みやすい量だった。 ・ジャグリングは継続している。 ・朝の会では仕事に入りやすいよう内容を工夫した。 ・関係機関との連携は職員全体で関わる事が出来た。 ・一人一人の生活課題、状況について常に情報共有した。 <p>上記取り組みの結果、落ち着いた雰囲気になってきた。下請けと染めが場所を選べることと、課題の多いメンバーが集団の中で落ち着いて来たことでさらに新規利用者につながっている。</p>
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・レクはクリスマス会は盛り上がったが年間計画は作成できなかった。 ・個別に明日（次回）やることを確認しているが終わりの会は実施していない。 ・常にメンバーのケースについて職員間で話し合っているが、事例検討会は持たなかった。
2019年度事業方針案	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・赤字から脱却して今後の事業の見通しを付ける。 ・染め作業をさらにひらめの家の「売り」にする。 ・楽しく働く、楽しく遊ぶを徹底する。
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・常に新規のメンバー募集につながる活動をする。 ・染めの販路拡大によって作業量の増加と工賃アップを図る。 ・遊び（レク他）を充実させる。
	具体的な取組内容	<p>①新規メンバーを常に受入れる取り組みをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関とメンバーの支援について密に連携することで、ひらめでの支援内容を周知する。 ・募集チラシの活用、SNSへの投稿などで常に情報を発信する。 <p>②染めの販路拡大を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売目標、対象者の絞込み、販売方法の検討を通じて、年間を通して売れる商品にする。 ・販路拡大により、作業に関わるメンバーを増やす。 <p>③レク等を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間レクを計画する。 ・木の芽バンドへのひらめの参加者を増やす。 ・ジャグリングを継続する。 ・新喜劇等新たな活動にも挑戦してみる。
	事業内容	ベンガラ染め、ヒバ消臭剤作り、下請け作業、サンケイリビング折込配布、ジャグリングワークショップ（法人）、木の芽バンド（法人）、新喜劇（予定）
	利用対象者	精神障害、知的障害、身体障害（建物はバリアフリーではない）
	利用定員	20名
	目標利用者数	平日1日平均15名
	開所日・時間	月～金 9:00～17:00
職員体制	事業責任者兼サビ管1名、常勤1名、常勤的非常勤1名、非常勤1名	

事業名		地域活動支援センターわかば
事業形態		神戸市地域活動支援センター（センター型）
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラム改編（外部講師の積極的導入・レディースタイム実施等） ・地域活動支援センターを知ってもらうための活動（大学での授業に利用者と職員が参加、地域の民生委員会合に出席、動画作成） ・集団支援：芸術活動・3障害受け入れ・アサーショントレーニング等 ・個別支援：面談・訪問や同行（自宅・施設・医療機関・福祉サービス）
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・わかば単独で地域の方を招くプログラムの実施や他事業所との積極的交流 ・クリニックなどへの挨拶回り
2019年度事業方針案	基本方針	現在の利用者や家族だけでなく、地域に潜在化する利用対象者やその家族にとっても安心できる居場所・相談場所となり、一人ひとりの「しあわせ」に寄り添って一緒に動ける集団を目指す。
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ①集団支援と個別支援のバランスと効果を考えた支援 ②利用者の課題や不安に寄り添うために必要な場合の訪問活動 ③地域や医療とのつながりを強化する活動
	具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 集団を活かしたコミュニケーションスキルやマナー習得のためのプログラムやグループでの芸術展出品、個人の強みを伸ばして生きがいや趣味に繋がるきっかけとなるプログラムをバランスよく実施する。また、個別相談とミーティングやディスカッションなどの場を効果的に取り入れる。 ② 昨年度までも機会を作って独居の利用者を順番に訪問している。生活の場を知ることによって日頃の言動や不安などが具体的に理解でき、ただ寄り添うだけでなく課題解決にも繋がるケースがあるため今後も必要な場合には（本人の了承が原則）積極的に訪問活動をしていく。 ③ 地域活動支援センターを知ってもらい繋がりを強めるため、地域の人も参加できるプログラム（弓場会館を利用したのヨガなど）の実施や他の福祉事業所（児童や高齢者）との囲碁将棋や紙芝居などを通じての交流を考える。また、地域の精神科クリニック訪問で顔が見える関係を築く。
	事業内容	地域活動支援センター
	利用対象者	精神障害（発達障害含む）、知的障害、身体障害
	利用定員	20名
	目標利用者数	平日1日平均12名
	開所日・時間	月・水（第1/第3）木・金・日（隔週）…10:00～16:00、火…13:00～19:00
職員体制	センター長を含む常勤2名、非常勤1名	

事業名	あんず	
事業形態	神戸市地域活動支援センター(センター型)	
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の主体的なプログラム企画を支援 ・バンド活動による事業所内外との交流 ・高齢障害福祉領域とのつながりの拡大（ほっとかへんネット灘、「エンゼルス」） ・就労実績等の数字に表しにくい地活の役割が見える化する取り組み
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に開放するプログラムの実施（企画したが実績なし） ・利用者の支援ネットワークとの顔の見える関係性づくり（できた利用者としていない利用者がある） ・事務作業と支援のバランスについての具体的な取り組み
2019年度事業方針案	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある方が地域で孤立しないよう、支援のネットワークを作る。 ・職員の専門性の向上 ・地域活動支援センターの活動を行政や関係機関、地域、家族等にもっと知ってもらえるよう積極的に発信していく。
	重点取組	職員のスキルアップ 事務作業の効率化 地域との連携強化によるアウトリーチとチーム支援力の向上
	具体的な取組内容	【職員のスキルアップ】 ①キャリアパスに応じた研修への参加 ②日々の支援の中での振り返り。それぞれの意見を出し合い、互いに学ぶ。 ③あんずスタッフミーティング 【事務作業の効率化】 スタッフ相互の業務内容・量を常に把握し適切に分担する 【地域との連携強化によるアウトリーチとチーム支援力の向上】 <ul style="list-style-type: none"> ・あんず内での役割分担、法人内外関係機関との連携（イベントなど） ・プログラム活動を通してのSST（利用者主体、朝活での新企画） ・日常生活支援と社会参加促進（面談、サロンでの雑談、集団の雰囲気づくり、他機関との連携） ・地域との連携強化、情報発信（オープンなプログラム、フォーマル・インフォーマル団体とのコラボレーション、活動園芸活動等の地域貢献、通信、PR動画）、地域で支援につながない人へのアウトリーチ
	事業内容	地域活動支援センター
	利用対象者	精神障害（発達障害含む）、知的障害、身体障害
	利用定員	20名
	目標利用者数	平日1日平均12名
	開所日・時間	月、火、木、金、第1,3水、隔週土曜日 10:00～16:00
職員体制	兼務センター長を含む常勤3名（兼務1名、専任2名）	

事業名		すみれ
事業形態		指定特定相談支援事業
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・あんずへの事務所移転 ①灘区での連携強化（東灘区の連携も継続） ②あんずとの兼務において移動時間のロス解消 ③相談支援業務について、あんずスタッフとも意見交換が活発になった。
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・計画相談利用者を増やすこと ・高齢障害福祉関係機関との連携の強化 ・すみれの相談支援事業に関する広報活動 (2月2日ひょうご聴覚障害者福祉事業協会での講演活動のみであった) ・専門性向上のための研修への積極的な参加
2019年度事業方針案	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・灘、東灘エリアでの協力関係を継続・発展させる。 ・地域活動支援センターあんずとの連携を活用する。
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・すみれの相談支援事業についての広報活動 (あんず利用者や関係機関との関係を通しての活動) ・基本相談におけるきめ細かな対応 ・連携強化
	具体的な取組内容	<p>【基本相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すみれの相談支援事業についての広報活動を行い、ニーズの掘り起こしにつなげる。 ・社会資源とのつながりが希薄な人々への支援（家庭訪問、面談、情報提供や他機関への紹介・同行、障害福祉サービスの利用に関する支援など） ・高齢障害者に対する理解と支援のため、介護保険関係機関と連携 ・法人内事業所と連携し利用者の生活面のニーズに対応する。木の芽だけで完結させるのではなく、木の芽を通して利用者自身のネットワークを広げていけるよう連携 ・木の芽家族会との協力関係を維持 <p>【計画相談】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者、関係機関との適切な情報共有 ・専門機関との顔が見える関係性づくり（サービス担当者会議の活用、区・相談支援事業所連絡会や市内特定相談支援事業所連絡会への参加）
	事業内容	基本相談支援、計画相談支援
	利用対象者	精神障害（発達障害含む）、知的障害、身体障害
	利用定員	基本相談：特になし 計画相談：特になし
	目標利用者数	計画相談10名
開所日・時間	月、火、木、金 10:00-16:00	
職員体制	管理者兼相談支援専門員1名	

事業名		あんずのつどい
事業形態		神戸市発達障害者東部居場所事業
2018年度	出来たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・一年を通じて5名～10名のメンバーで活動することができた。 ・座学プログラムで参加者の増員を達成することができた。 ・参加者を一年間を通じて固定化することができ、メンバー同志のコミュニケーションが円滑になってきた。
	出来なかったこと	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいプログラム（バッティングセンターで汗を流そう）を実施することができなかった。 ・新規メンバーの獲得が思うように進まなかった。
2019年度事業方針案	基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にしたプログラムの実践 ・新規メンバー獲得に向けての広報活動の強化 ・法人職員の本事業への参画促進
	重点取組	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を明確にしたプログラムの実践。カルチャープログラムの強化 ・発達窓口との連携を強化し新規メンバーの募集を強化する。 ・職員の支援レベルを高め発達障害特性の理解を進める。
	具体的な取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の茶話会に向けて31年度プログラムの骨子を固める。 多くのメンバーに参加してもらい、年度プログラムの内容を決める。 ・経費のかからないプログラムを構築する。 ・発達障害特性の理解を深めメンバー個々人の支援内容を考える。 ・居場所事業という事業内容の理解を深め、メンバー個々が楽しめる雰囲気を作っていく。
	事業内容	各種イベントやプログラムの実施
	利用対象者	発達障害
	利用定員	なし
	目標利用者数	毎回5名～10名
	開所日・時間	毎月第3日曜日13：00～15：00（時間はプログラム毎に異なる）
職員体制	常任支援員3名(他法人職員のプログラム参加も有り得る)	